

# 成人編 その2 検診

## 低い検診受診率

すべての病気は、早期発見早期治療が大切だということはおわかりだと思えます。我が市の検診受診率はまだ、他の市町村と比べると低く、(一)をみるとわかるように、結核検診は年々減少し、子宮がん検診も昭和五十七年に自己検査法から施設検診に変わってから低迷しています。成人病検診に関しては、ここ数年、徐々にではありますが延びて

います。しかしまだ、対象者の約二割に達しただけです。

## 満40歳には個人通知で受診率アップノ

市では、少しでも多くの人に成人病検診を受けてもらうと、昭和六十二年四月～六十二年三月までに40歳になる人に個人通知を出したところ(二)のとおり、40歳の受診率がアップしました。

一番成人病検診を受けていただきたいのは、日頃、どこも悪くないと思っている40歳の働きざかりの人なのです。また、子宮がん検診についても30歳になった人に個人通知をして受診を呼びかけているところです。

## 発見された病気

各種の検診で発見された病気は、(三)～(四)の通りです。成人病検診では、高血圧の人が多く発見されています。胃がん検診の異常者の中では、胃炎が、又、子宮がん検診の異常者の中では、膣部びらんが約半数を占め、がん以外の病気の発見にも役立つています。

検診を受けていない皆さん、必ず年に一度は自分の健康を確かめるために積極的に各種検診を受けるよう心がけて下さい。

